

科目名称 (Course Title)				担当教員(Instructor)	
倫理学				狹間 芳樹	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
前学期	2単位	2年次	集中講義	有 (一 名)・ 無	
授業の概要 (Course Description)					
<p>正義とは何か。幸福とは何か。幸福と正しい生き方は両立するのか。そもそも、なぜ正しく生きなければならないのか。こうした疑問に対し模索してきたのが「道徳哲学」とも呼ばれる「倫理学」であり、そこでの倫理は長く私たちの規範として機能してきた。しかしながら現代の社会で私たちが直面している、さまざまな課題を解決していくにあたっては、今や旧来の倫理を越えた「新たな倫理」を採用することが求められている。</p> <p>本講義では、倫理学の黎明期からその歴史的展開をたどりながら、まず基礎的な概念と理論を概観した上で応用倫理学の手法を学ぶ。次いで現代社会をとりまく、いくつかの倫理的課題を具体的にとりあげ、受講者とともにその解決策を考えていくなかで、最終的に各人が倫理学の基本的な問題へアプローチし、自らの言葉で説明ができるようになることを目指す。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<ol style="list-style-type: none"> 1) 倫理学の基礎的な知識を理解し、適切な説明がおこなえるようになるとともに、様々な価値観を認め、尊重する態度を修得する。 2) 小レポートを作成することにより、講義形式の授業では得られにくい「主体的な問題探求の姿勢」を身につける。 3) 現代社会が抱える様々な課題に対して自らの意見や見方を持ち、判断能力を養うことができるようになる。 					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	ガイダンス／はじめに—〈善・悪〉〈正・不正〉という判断基準—				
第 2 回	倫理学とはどういう学問なのか—規範倫理学、メタ倫理学、応用倫理学—				
第 3 回	徳倫理学—古代ギリシアにおける「徳（美德）」の追求—				
第 4 回	義務論—イマヌエル・カントの道徳論—				
第 5 回	進化倫理学—なぜ〈善〉は〈悪〉よりも好ましいのか？—				
第 6 回	功利主義（1）ジェレミ・ベンサムの古典的功利主義				
第 7 回	功利主義（2）量的功利主義と質的功利主義				
第 8 回	功利主義（3）厚生経済学（新厚生経済学）と功利主義				
第 9 回	応用倫理学と〈新たな倫理〉の必要性				
第 10 回	現代社会と応用倫理学（1）医の倫理と生命倫理学				
第 11 回	現代社会と応用倫理学（2）環境倫理学—エコロジーと地球全体主義—				
第 12 回	現代社会と応用倫理学（3）動物倫理学—ピーター・シンガー『動物の解放』—				
第 13 回	現代社会と応用倫理学（4）経済倫理学—慈善・奉仕行為と費用有効性—				
第 14 回	公共性と「正義」論—社会的・経済的な機会均等原理と格差原理—				
第 15 回	まとめとフィードバック				
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
<ol style="list-style-type: none"> 1) 授業後に、配付プリント等を参照しながら講義内容をまとめることが必要である。 2) また、講義で概略のみ説明した部分について、授業中に随時紹介する参考文献などで調べ、自分なりのノートを作るといった発展的な学習が望まれる。 					

